

# 阿南町総合観光ガイド

# あ な ま る

祭りを楽しむ  
田舎を楽しむ

新野の盆踊り

和合の念仏踊り

栗野の囃子屋台

新野の雪祭り

深見の祇園祭り



## 阿南町へのアクセス

### ■自動車

	東京	中央道 約200分
	名古屋	中央道 約80分
	豊橋	R151 約120分
	浜松	三遠南信自動車道 約50分
		R151 約70分

### JR

	東京	中央線	岡谷	飯田線
	名古屋	東海道線	豊橋	飯田線

※特急列車の停車駅です

阿  
南  
町

[発行] 阿南町役場 振興課

長野県下伊那郡阿南町東條58-1 TEL 0260-22-4055  
<http://www.town.anan.nagano.jp/>



阿南町ホームページ

2025年9月発行

# 「あなん」は、四つの調和から・・・

## 和合

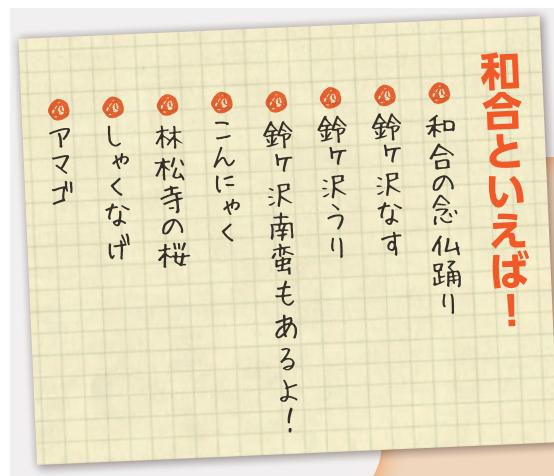
自然に囲まれた  
山村の原風景

## 新野

神仏を崇める  
千石平

深い山並みに抱かれた和合地区は、阿南町西部の山間に位置しています。和知野川と売木川に沿って開かれた道を進んで行くと、小さな集落が幾つも見えてきます。現在は人口の減少と高齢化が進んでいますが、豊かな自然を活かしたこんにゃくやしいたけなどの和合ならではの農産物の栽培や、清冽な水を利用したあまごの養殖が行われています。また近年では、信州の伝統野菜に認定された「鈴ヶ沢なす」「鈴ヶ沢うり」、「鈴ヶ沢南蛮」など、和合地区内で大切に栽培されてきた野菜が注目されています。

和合地区の魅力は何と言っても、人々の生活が自然の中にとけ込んでいることです。この地区には山村の原風景がすべてあるといつてもよいでしょう。緑の山に抱かれた素朴な山里。棚田に豊かに実る稻穂。谷あいを流れる清流。その素朴な生活の中で伝えられてきた幾つもの民俗芸能。せわしい日々に追われ、ふと心の安らぎを求めたとき、この山里は訪れた者を温かく迎えてくれるでしょう。

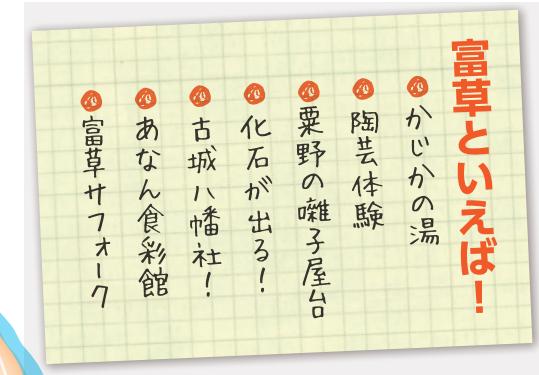


新野地区は、阿南町の南端に位置し、愛知県との県境にあります。標高約800メートルにあるこの地区は、真夏でも清涼な風が吹き流れるところです。千石平と呼ばれた新野は現在でも米どころとして、のどかな農村風景をとどめ、見る者の気持ちを和らげてくれます。

古くから開けたこの地区は、遠州街道を始めとする交通の要衝でもありました。多くの文化が新野を経由して下伊那各地に分散していました。

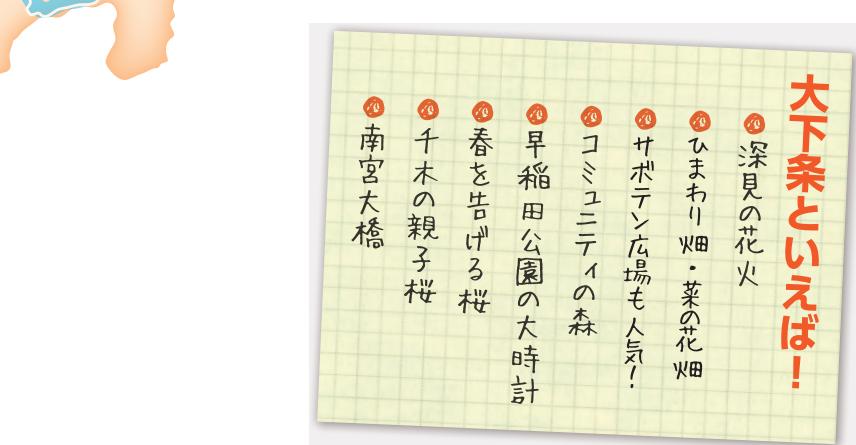
また、新野の雪祭りや盆踊りなどの伝統芸能が昔のまま残されていることから全国的に有名で、人々は現在でも神仏を崇めながら生活をしています。

つづら折りに峠を登りきって眼前に広がる千石平。新野の風景は、今もなお、かつての旅人の気持ちにさせてくれるでしょう。



富草地区は、阿南町北部に位置し、南北に縦断する形で国道151号が通っています。肥沃な台地に恵まれ、古くから水稻を中心とした農業が営まれていました。この地区は、数千年前には海の底であったことを示す砂泥の層や断層が広く分布しており「富草層」と呼ばれています。一帯からは多くの化石が採集され、様々な調査・研究活動がなされてきました。これらの結果は、阿南町化石館で見ることができます。

また、国の重要文化財に指定されている「古城八幡社」は、内部に八幡社本殿と摂社諱社本殿の二つが祀られている珍しい神社です。さらに南下すると門原川沿いに、「ゆうゆーらんど阿南」が見えてきます。ここには阿南温泉かじかの湯をはじめ、陶芸体験館、コテージ風の宿泊施設かじか荘、キャンプ場などが整備されており、自然を求める多くの人々で賑わっています。



大下条地区は、阿南町の中心に位置しており、道路交通網の発達により泰阜村や天龍村への玄関口となっています。天竜川の河岸段丘に沿って集落が発達し、学術的にも珍しい深見の池も、この段丘に静かに水をたたえています。水上花火を見ることができる「深見の祇園祭り」では、多くの観客が池の周辺を囲みます。

富草から国道を南下すると、町役場を左下に臨んで正面に早稲田公園の大時計が見えています。ここが町の文教施設の中核「コミュニティの森」です。

町民会館、文化会館のほか、グラウンド・体育館・プールなどのスポーツ施設、美術館・西尾實記念館などの文化施設が整備されており、多くの人々に利用されています。

また、地区には県立阿南病院や阿南高校があり、下伊那南部地域の中核としての役割を担っています。

# 富草

古代ロマンと  
癒やしの里

# 大下条

町の中心  
あなんの要！



## 花 ひまわりに囲まれて

ひまわり畠は、野良舞夏ひまわり俱楽部が油の採油のために栽培しているもので、阿南町の観光名所として人気のスポットとなっています。春にはひまわりの肥料用として栽培する菜の花畠も楽しめます。

平石農場 ⑩F-4  
見頃／菜の花：4月下旬～5月上旬  
ひまわり：8月中旬  
☎0260-22-4055

## サボテンを楽しむ

寒暖の差がある南信州は、サボテンと多肉植物の栽培に向いています。平石サボテン広場は地元の有志の皆さんにより運営されています。一年間を通してお楽しみ頂けます。



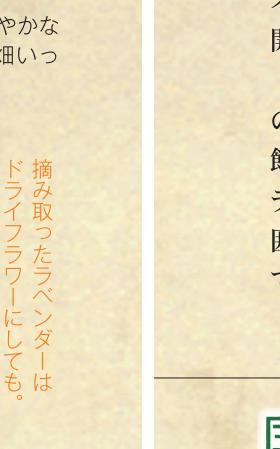
平石サボテン広場 ⑪F-4  
☎0260-22-4055

## むらさき香る

遊休農地約20アールを利用して、クラインガルテン新野高原OGのグループが運営するラベンダー園。2種類の品種を植えているため、長く楽しめます。摘取りもできます。



ドリーム新野  
ラベンダー園 ⑫C-8  
見頃／6月下旬～9月下旬  
☎0260-24-2001



春から夏にかけ、爽やかな香りの美しい花が咲いっぱいに咲きます。  
「ドライ（干し）」でも、  
「摘み取ったラベンダー」にして、

## 見守られて咲く花

高原植物として知られるニッコウキスゲが自生しているのは、新野地区の阿南第二中学校の学有林。地元住民と中学生が保護活動をし、見守っています。同じ敷地内で、ニッコウキスゲに続いてササユリ、春先にはザゼンソウと、貴重な野草が見られます。



国道151号沿いで、車窓からも見ることができます。  
学有林 紅樹山 ⑬C-7  
見頃／6月上旬  
☎0260-24-2001



## 知 ひまわり

昔は海だった！

阿南町一帯は、新第三紀中新世(今からおよそ1,700万年前)の海底に堆積した地層が分布しており、富草層群とよばれています。特に阿南町富草地区は化石の産出地として古くから有名です。



古代ザメの歯や古代サイの額など、学術上貴重なものを見学しています。

阿南町化石館 ⑭E-3  
営業時間／9:00～16:00  
定休日／月曜日・年末年始  
☎0260-22-2273

## 古きを知る

農村文化伝承センターでは、町内の民俗芸能を写真展示や資料・人形などで紹介しています。祭り当日の様子などを大型ビデオ設備で鑑賞することができます。また、企画展なども定期的に開催しており、町民の発表の場としても活用されています。

農村文化伝承センター併設の歴史民俗資料館では、昔の山村の暮らしが再現されています。既設の土蔵を利用して作られた館内は、農耕・山仕事・民家の様子などがテーマごとに展示され、当時の生活を雰囲気ある蔵の中でじっくり知ることができます。



農村文化伝承センター・歴史民俗資料館 ⑮C-8  
営業時間／9:00～17:00  
定休日／月曜日・年末年始  
☎0260-24-2455

## 国語教育の大家

西尾實は、国文学の研究に励み、各地の中等学校や大学で教鞭をとる傍ら、全国をまわり国語教育の指導にも携わりました。後年は、国立国語研究所の初代所長に就き、わが国の国語教育の重鎮として数多くの業績を残しています。

西尾實記念館では、著書・蔵書・遺品などを展示しています。

西尾實記念館 ⑯E-5  
営業時間／不定  
定休日／年末年始  
☎0260-22-2270(教育委員会)